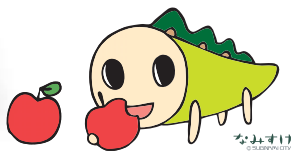




すぎなみ 教育報



No.198

平成22年9月30日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

魅力ある区立中学校づくりを杉並区は応援しています



生徒全員が明日の来ことを心待ちにする中学校
保護者が安心して通わすことのできる中学校

生徒一人一人の学力、体力、豊かな人間性を確かに育てる中学校
地域の方が心から応援したくなる中学校

杉並区は中学生の思いや願いを大切にしたい事業を推進しています

杉並区は各学校で主体的に行う中学校の魅力づくりの支援に加え、
中学生、学校の思い・願いに応える取組みを実施しています。

「合同部活動スペシャル2010」の開催

中学生にとって毎日、楽しみにしていることの1つが放課後の部活動の時間です。

杉並区では昨年度より「今よりもっと上手になりたい。」という生徒たちの願い、「本格的な指導法を学びたい。」という顧問教員の願いに応じて夏休みの期間を利用して、白井貴子、中田久美、横野有紀、井上謙氏(バレーボール)などの元オリンピック選手、元プロ選手、演奏家、プロコーチ等を指導者として「合同部活動スペシャル」を開催しています。今年度は8月2日(月)より、昨年実施したバレーボール、サッカー、吹奏楽に加え、元プロ野球選手をお迎えした野球も実施しました。529人の中学生が夏の大切な思い出を作りました。

また、顧問の先生からも「生徒の技術を高める指導方法を学べた。」といった喜びの声が聞かれました。



合同学習会「チャレンジクラス2010」の開催

区立中学校236名の生徒たちが8月4日(水)から3日間開催された「合同学習会」(高円寺中学校、阿佐ヶ谷中学校、井草中学校の3校を会場)に意欲的に参加しました。

この取組みは、指導力に定評のある区立中学校の先生と、大学・高校の先生方、民間教育機関に勤める方等に御協力いただき、「進学等を控え、もっと難易度の高い学習にチャレンジしたい。」「下学年の内容に戻って伸び悩んでいる部分を徹底的に伸ばしたい。」等の思いや願いをもつ区立中学校に通う生徒たちのために企画・実施されました。(参加費無料)

参加した生徒たちからは「分からなかった問題も前より分かるようになった。これからは、何回も家で復習し、苦手克服ができるようにしたい。」「学校とも塾とも違う印象で、いろいろな考え方ができるのだなあ実感しました。」「来年もこのような学習会があれば参加したい。」という感想が寄せられています。杉並区では、このような生徒の学力を高める魅力ある中学校づくりに結びつく取組みが、各学校においても工夫実施できるよう今後、検討してまいります。



区立中学校は自校の魅力を高めるための努力を惜しみません

各中学校は、学校・保護者・地域の方との連携により生徒一人一人の学力向上を図る「魅力ある学校」づくりを自校で進めています。

大宮中学校の「せいび教室」「なでしこ教室」

大宮中学校では、生徒の「もっと学びたい」という学習意欲に応えるため、放課後学習教室「せいび教室」「なでしこ教室」を開設しています。

「せいび教室」は、放課後、原則として自主学習を支援する教室です。教科の宿題で分からない問題、もっと深く学びたい内容、英語検定や漢字検定の問題に放課後常駐する学校サポーターや教師が個に応じたアドバイスをします。教材も、教室のパソコンからプリントアウトできます。

「なでしこ教室」は、小学校段階の学習や中学校の基礎的・基本的な学習に対するつまづきに悩んでいる生徒を対象とした個別指導の学習教室です。また、昨年は水曜日に3年生限定の日を設け、入試対策を行いました。



和泉中学校の「和泉手習い塾」

和泉中学校では、和泉地区学校支援本部の主催で、毎週水曜日の放課後(夏季休業日は午後2時から)に「和泉手習い塾」を開催しています。

「和泉手習い塾」は、希望者を対象に、日本教育工学研究所の田中保成先生の協力のもと、英語、数学の学習方法を身に付け、学習を習慣化していくために、教科書と計算・単語カードを繰り返し学習し、基礎・基本の習得を支援しています。



子供園はどんなところ？

◆3歳児保育のスタート◆

幼保一体化施設に生まれ変わり、4月から3歳児短時間保育9名、長時間保育9名が年少組で過ごしています。全員保育の時間は幼稚園の遊びや生活の流れを継承し、長時間の幼児は朝から帰りまで保育と教育をバランスよく配置して過ごしています。長時間保育の午後はお昼寝をしたりおやつを食べたり、お迎えの時間まで午後の遊びを楽しんでいます。この夏はたっぷり水遊びをしました。



年長組が遊びを考えて準備をしたわくわくランドは、保護者・年少・年中組が遊びに来てくれて今年度も大盛況！

全員保育終了

年中組は9月まで13:30降園

杉並区では、平成22年4月に区立下高井戸子供園と堀ノ内子供園がスタートしました。区立子供園は教育と保育を一体的に行う区独自の幼保一体化施設です。遊びを中心とした学びを大切に、保育士と幼稚園教諭がそれぞれの考えや持ち味を出し合い、協力して保育を進めています。2学期に入った下高井戸と堀ノ内から、子供園の様子をご紹介します。

子供園の一日

短時間保育

全員保育開始

登園

荷物をしまい元気いっぱい遊びます。

昼食

食後はたくさん遊びます。

帰る前は絵本を読んだり歌を歌ったりします。

年少組は降園

年中・年長組降園

全員保育終了

園庭開放終了



長時間保育

7:30

順次園児が登園してきます。

9:00

クラスの皆と一緒に元気いっぱい遊びます。

11:30

<全員保育の時間は短時間保育の園児と共に過ごします。>

13:00

年少組はお昼寝

13:10

年中・年長組はゆっくり過ごします。

14:00

おいしいおやつタイム

15:30

午後の保育たっぷり遊びます。

16:00

順次降園

18:30

長時間保育終了

◆8月から一時保育を始めました◆

子育て支援の一環として、在園児の保護者の方が仕事や小・中学校の行事等で一時的に保育が必要な時に通常の保育時間に引き続き1時間単位でお子さんをお預かりします。



初めての
お散歩

◆安心な2人担当◆

子供園では保育士1名と幼稚園教諭1名がクラスを担当します。互いに保育を振返ることができ、学びあい刺激しあうことで幼児への見方・関わり方に広がり生まれています。



園で育てた夏野菜を使って年長組がカレーを作り、年少・年中組にごちそうしました。「おいしいね~!!」

保護者の声から

- 3歳児からの受入れが始まり、新たな教育に期待を膨らませています。
- 自由にのびのびと遊ぶ中で、基本的なルールや、生活習慣が身につくように指導していただいています。
- お仕事をしているママと話すとは違った世界が広がります。
- 小学校をはじめ、地域との交流が盛んで、いろいろな人たちと触れ合う機会があります。
- 保育参加、参観日があり、子供たちの園での様子を見ることができます。
- 育てた野菜を調理して食べたり、小動物のお世話をしたりするという自然と触れ合う体験を楽しんでいます。

問合せ 保健福祉部保育課子供園担当

学校支援本部探訪

名は体を表す～「井草流」学校支援本部運営のポイント～

— 井草中学校 (井草中支援本部 “えん”) —

平成18年設立の井草中支援本部 “えん” は、いわば学校支援本部の老舗といえます。今回は、設立当初からのメンバーである辻田会長、江畑副会長、寺田校長に学校支援本部の運営について伺ってきました。

「小さくても核となるものを作るのが大事」

最初から幾つもの団体をうまく運営していこうとすると大変で、いつのまにか組織自体を維持することが目的となってしまうがち。一つ核になるものがあれば、そこからどんどん派生して人も団体も自然と広がっていきます。井草中では土曜日学校 (ISS) が核となり、各団体も柔軟に新設・改編を繰り返しているのがアメーバみたいな組織になっています (笑)。



運動会、クラスカラーで応援



社会人講座

「上下関係ではないフラットな人間関係」

運営で1番大変なのは人間関係。井草中では、「あくまでもボランティアなので、無理強いはいらない」という考え方のもと、みんなで助け合っています。また、学校との関係もフラットです。最初は職員室に入るのも緊張しましたが、先生方を交えた研修会で一緒に夢を語り合い、一気に交流が深まりました。強力なリーダーシップではなく、それぞれがフラットな関係なので双方向にコミュニケーションがとりやすいですね。

人の輪の「円」、人との「縁」、支援の「援」、 “えん” にはいろいろな意味が込められています。最近では、卒業生たちが学生ボランティアとして戻ってきて支援してくれるとのこと。“えん” にまた1つ、循環の「えん」が加わったようです。

▶ 郷土博物館特別展 角川源義 — 出版・俳句・学問への熱意 —

荻窪の旧角川邸 (現杉並区立角川庭園・幻戯山房 — すぎなみ詩歌館 —) とともに区に寄贈された資料を中心として、角川書店の創業者・俳人・国文学者であった角川源義の業績を紹介し、また、角川庭園・すぎなみ詩歌館周辺の歴史や文化に根差したまちづくりの景観も紹介します。講演会や角川庭園・すぎなみ詩歌館を利用した関連行事も予定しています。詳しくは広報すぎなみや郷土博物館HPをご覧ください。

期間：10月23日 (土) ~平成23年1月10日 (月・祝) 開館時間：午前9時~午後5時

休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日 (祝日・休日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始 (12月28日~1月4日)

観覧料：100円 (中学生以下は無料) 問合せ：郷土博物館 (大宮1-20-8) ☎3317-0841

第60回杉並区総合文化祭

【入場無料】
会場：セシオン杉並ほか
9/26(日)～11/4(木)

記念式典・行事
10/3(日)

杉並区総合文化祭は今年で60回目を迎えます。毎年、セシオン杉並を中心に開催され、大人と一緒にたくさんの子供たちが出演したり、絵画などを出品しています。あなたの近くにいる友達が舞台上で踊っていたり、絵が展示されているかも……

60周年記念式典・行事

開場：午後0時30分 開演：午後0時50分 終演予定：午後6時

- 第一部 都立杉並高校吹奏楽部による演奏
コーラス連盟による合唱
日本フィルハーモニー交響楽団による弦楽四重奏
- 第二部 記念式典（功労者表彰など）
- 第三部 文化団体による舞踊、ダンス、奇術、蚕糸太鼓などの演舞
DANCE WORLD made in TAKANE によるバレエ
たつのおとし子連による「阿波踊り」



児童劇・音楽フェスティバル、洋舞フェスティバルは、たくさんの子供たちが出演しています！

将棋大会は子供は当日も参加できます！

大会の部	
囲碁大会	10/9
吟剣詩舞大会	10/16
奇術大会	10/17
民謡舞踊大会	10/17
謡曲大会	10/17 (会場：杉並能楽堂)
舞踏大会	10/23
歌謡大会	10/24
三曲演奏大会	10/24
俳句大会	10/24
コーラス大会	10/30
短歌大会	10/30
児童劇・音楽フェスティバル	10/31
洋舞フェスティバル	10/31
将棋大会	10/31

展示の部	
華道展	10/1～6
書道・絵手紙展	10/8～12
点茶会	10/9～10
石の美・盆石・写真展	10/16～18
アマチュア美術展	10/20～24

杉並の著名作家による美術作品展
10/26～31 (28除く)

ギャラリートーク (午後1時30分～) 10/31

区民文化の日 (公募による区民の舞台、作品)

舞台部門	11/3
展示部門	11/2～4

記念展示、講座など

書道体験	10月3日(日)	午後1時～5時	セシオン杉並・中庭 (先着順)	初めての書道体験やセラミック刻字、リレー書道が楽しめます
点茶会		午後3時～5時	セシオン杉並・ホールロビー (先着順100名)	各流派の「点茶」を無料で楽しめます。初体験であなたもどうですか
児童画展示	10月8日(金)～14日(木) (11日(月)除く)	午前8時30分～午後5時	杉並区役所1階ロビー	未来の杉並区を想像し願いを込めて描いた小学生の絵画展
歴史記念講演会	10月16日(土)	午後1時30分～3時30分	セシオン杉並・集会室 (先着順100名)	名誉区民である速水融氏の講演「江戸時代の庶民生活」宗門改帳

【問合せ】 詳しい時間や参加方法は 社会教育センター (☎3317-6621)

心を軽くして、私らしい家庭の教育力を取り戻しませんか？

子供の言語や考え方、行動のしかたなど、人格形成に深い影響をあたえる家庭内の教育。家庭のぬくもりをよりどころに、身近なところで助け合ったり、

知恵や経験を伝えあったりするなかで、保護者自身の自律と責任において営まれてきました。しかし近年、核家族化や地域での人間関係の希薄化などにより、子育ての不安や悩みを持ちながら、解決の糸口が見つからず、孤立する保護者が増えています。

社会教育センターでは、区内PTAや地域グループとの共催により「家庭学級」を開催し（平成21年度実績31講座）、保護者同士のつながりづくりや学習の場づくりを行っています。そして「家庭学級」開催団体の活動や事業が、より質の高いものとなるよう、「家庭教育フォーラム」を開催しています。

また、子ども家庭支援センターでは、「ゆうライン」を開設し、保護者や子供からの相談を受け、専門機関とのネットワークを活用して、一緒に解決のヒントを探っています。

保護者も子供も、心を軽くして日々成長していけるよう、問題を一人で抱え込まず、おしゃべりや学習・相談などそれぞれのやりかたで、地域とつながる一歩を踏み出して、私らしい家庭教育、そして私らしい生き方を見つけてみませんか？

「家庭教育フォーラム」参加のご案内

駒沢女子短期大学保育科の福川須美教授を招き、人格形成に深い影響を与える家庭での教育力がなぜ大切なのか、地域や社会がなぜ家庭の教育力を支える必要があるのか、原点に立ち返って考えます。また、PTAや地域グループ、これから「家庭学級」をはじめたい方などでのグループ懇談を通して、家庭の教育力向上に向け、様々な意見・情報交換も行う予定です。

〈日 時〉平成22年10月22日(金)
午前10時～午後0時30分

〈会 場〉セシオン杉並3階 第8～10集会室

〈お茶代〉100円

*平成21年度「家庭学級」開催講座一覧は、教育委員会ホームページからご覧いただけます。また、講座の内容をまとめた『「家庭学級」の手引きと記録』を希望者には無料で配布しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

【問合せ】 社会教育センター (☎3317-6621)

ゆうライン



子ども家庭支援センター
☎5929-1901

〈開設時間〉
月～土曜日9時～19時
(日・祝日を除く)

★お父さん・お母さんへ

日々の子育てが、“かわいい”“楽しい”でいっぱいならいいのですが、時には、怒りや悲しみ、寂しさを感じ、不安でいっぱいになることもありますよね…。そんな時、ゆうラインを思い出してください。相談は電話でも、来所でも可能です。また、ひとり親家庭のお父さん・お母さんからの相談も受け付けています。

★小学生・中学生のみなさんへ

学校のこと、クラスのこと、友だちのこと、家族のこと、そして自分のことで「こまったな」「どうしよう」と思ったら、ゆうラインに相談してみてください。うまく話せないかも、なんて心配する必要はありません。ゆっくりと、おもいつくところからはじめましょう。どんなことでも一緒に考えます。

【問合せ】 子ども家庭支援センター (☎5929-1902)

郷土博物館分館企画展 のらくろみつけた！—田河水泡の杉並時代—

戦中、戦後を通して大人気を博した漫画「のらくろ」の著者田河水泡は、昭和8年から町田市へ転居する昭和44年までの間、杉並区に居住し多くの作品を生み出しました。今回の展示では、杉並時代を中心に、漫画家だけにとどまらない田河水泡の活動と交友関係などを紹介します。

展示解説：11月6日(土)・11月28日(日) いずれも午後1時30分から (先着30名、直接会場へお越しください)

期 間：9月25日(土)～12月5日(日) 開館時間：午前9時～午後5時 休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は開館し、翌日休館) 観覧料：無料 問合せ：郷土博物館分館(天沼3-23-1 天沼弁天池公園内) ☎5347-9801



9月3日、区役所で「杉並区中学生環境サミット」の発表会が行われました。

中学生環境サミットは、未来を担う中学生に、地球的な課題である環境問題を講義や体験学習を通して理解してもらい、環境に対して責任を持つ当事者としての自覚と、問題解決へ向けた実践行動力を養うことを目的として、7月から全5回にわたって開催されました。

今年度は、「中学生が考える環境、省エネ・省資源」をテーマに、区立中学校18校46名の生徒が、家庭や学校、地域など身近なところから環境問題について考えました。

地球温暖化についての講義、荻窪小学校の最新エコスクール設備の見学などを通して理解を深め、意見交換を行う中で着眼したのは、CO₂の削減。そのために自ら何ができるか意見を出し合い、具体的な行動をチェックシートにして取組みを進めていくこととしました。

発表会では、それまでの実践結果や今後の取組みについて学校ごとに工夫を凝らした発表が行われました。区長・教育長をはじめ、参加校の先生、保護者の方々などで満席となった会場では、生徒たちの言葉になるほどと大きくうなずく姿も見受けられました。

各校の発表で共通していたことは、自分たちができる身近な取組みによって環境は変えられるという点です。さらにそこには、継続性、目に見える効果、達成感という視点が必要であるということも含まれていました。

今後は、作成したチェックシートに基づいた行動を各校で実践し、自主的な環境保全活動へと発展していきます。杉並区の生徒たちから始まるこの取組みがやがて地域や社会に、ひいては世界へと広がっていき、環境問題から地球を救う第一歩となります。

「さぁ、私たちから始めよう！」生徒たちの言葉がこの日、力強く宣言されました。

問合せ：環境清掃部環境都市推進課



平成22年8月1日付で新たに教育委員が2名就任しました

このたび、教育委員という大役をお引き受けすることになりました田中です。子供を育てながらPTA活動、地域の様々なボランティア活動に携わってまいりました。教育とは自らも学び共に育つことと思っており、この原点に立って、子供たちが健全に育つために何が大切か、何が必要かを考え、今後の職務遂行に微力ですが頑張っています。



田中 奈那子委員

このたび、教育委員を拝命いたしました、對馬です。今、この重責を感じております。すでに数校、授業を見せていただきましたが、どの先生もきちんと子供に向き合って指導されており、大変頼もしく感じました。今後も、小・中学校はじめ、図書館、郷土博物館などを訪問させていただき、現場をよく理解して、社会教育を含めたよりよい教育のために尽力したいと思います。



對馬 初音委員

小学生が使う教科用図書が決まりました

平成22年8月26日（木）に開かれた教育委員会定例会において、区立小学校で平成23年度から26年度まで使用する教科用図書が以下のとおり採択されました。

採択された教科用図書の見本本は、済美教育センターで常時閲覧することができます。 問合せ：済美教育センター ☎3311-0021

平成23～26年度使用 小学校教科用図書

種目	出版社	書名
国語	光村図書出版	国語
書写	光村図書出版	書写
社会	東京書籍	新しい社会
地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
算数	教育出版	小学算数
理科	大日本図書	たのしい理科
生活	大日本図書	たのしいせいかつ
音楽	教育芸術社	小学生の音楽
図画工作	日本文教出版	図画工作
家庭	開隆堂出版	小学校 わたしたちの家庭科
保健	学研教育みらい	みんなの保健

教育委員会の動き

教育委員会は、毎月第2・4水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。

【教育委員会開催状況】(22年6月～8月)

- ・定例会 6回
- ・臨時会 2回
- ・議案 21件
- ・選任 1件
- ・報告事項 11件

【主な案件】◎は審議、○は報告事項

- ◎杉並区立小学校において使用する教科用図書（平成23～26年度使用）の採択について
- ◎杉並区立特別支援学校並びに杉並区立小学校及び中学校の特別支援学級において使用する教科用図書（平成23年度）の採択について
- ◎「平成22年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施方針
- 杉並師範館の今後のあり方の検討等について
- 合同学習会及び合同部活動について
- 新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会の設置について
- 平成22年度学校支援本部新規設置校への財政支援について



第45回科学創意工夫展

科学創意工夫展は、区内の小・中学校の児童・生徒の自由研究・製作物の優秀作品展示会です。児童・生徒の科学的な創造力や研究心を高め、推進するために毎年実施しています。

各学校から寄せられた優秀作品を科学館に一堂に展示し一般公開します。特に優れているものは教育委員会賞、科学館賞として表彰します。また、社団法人発明協会が選出した作品については東京都児童生徒発明くふう展にも出展されます。期間中は科学ビデオの上映やプラネタリウム投映もあります。詳しくは広報すぎなみ、科学館HPをご覧ください。

期間：10月8日（金）～11日（月） 日曜祝日を含む4日間 午前9時～午後5時

入館料：無料 問合せ：科学館（清水3-3-13） ☎3396-4391

●再生紙を使用しています